

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 企業情報ネットワーク

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。 ・差別やハラスメントに関し、男女の担当を配置し、女性社員で男性担当者に相談しづらいことは女性担当者に、男性社員で女性担当者に相談しにくいことは男性担当者に相談するなど意見がしやすい職場づくりに努めている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・メンタルヘルスを確保するために安心して発言・行動できる職場環境の実現に向けて担当者を配置し、啓発活動を実施している。 ・また、担当者は講習等への出席、またその内容を朝礼や会議で全社員の前で話すことや文章化することにより社員と共有している。 ・社内警備を入れ、万が一の事があればボタンを押せば警備会社に通報がいき、警備員が駆けつけるようにしている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・パート社員)には職務規定に定めるなどの公正な待遇を行っている。					5.5				8.5	10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・業務時間(8:30~17:30)外労働をなくすよう、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取組み、有給休暇などの取得奨励を実施している。 ・また、育児、ボランティア活動へ参加しやすい職場環境を整えている。			3		5.5				8.5 8.8	10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。(実績:熊本法人会昨年从今年にかけ実施した簿記の勉強会、2、3級の資格取得) ・良好な職場環境の醸成や部下の能力開発など、管理職が適切なマネジメントを実施できるため、熊本法人会や中小企業家同友会等が実施している講習への参加を促進している。				4	5.5				8	9							
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・全従業員が参加する毎朝の朝礼にて交通事故等への注意喚起や健康増進への取組みの促進を行っている。 ・従業員及び家族の健康維持向上を呼び掛け、スポーツを推奨している。 ・健康診断の経費補助を行っている。			3						8								17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。				4.4	5.1 5.5				8.5	10.2 10.3							16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・会議の人数制限や会議室の窓開けなどを徹底している。 ・時差出勤や在宅勤務(ZOOM打合せ等)を導入するなど、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。 ・来客者の名前把握や少人数での打合せ、ペットボトルのお茶出し、アルコール消毒、体温計、パルスメータの設置などを実施している。			3						8	9.1	11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・企業データや請求書システム等を紙ベースからデータベースへの変更するなど、ICTを活用したマネジメントとマーケティングの実現に向け、業務改革に取り組んでいる。 ・その他のシステムも専門業者に入ってもらい順次、紙ベースからデータベースへ移行している。									8	9.1	11	12					
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4				8	9		12						

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 企業情報ネットワーク

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理(専門業者への持ち込み)に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・会社の照明をLED蛍光灯に変更し、オフィスの節電に取り組んでいる。また、エアコンも体調に支障のない程度に適切な温度(夏は28度、冬は20度の温度設定を実施している。(ただし、体調不良等が出た場合は柔軟に対応) ・公用車(自家用兼用)は、ハイブリット車を推進している。 ・【予定】従業員のエコカー補助金制度を2022年10月に導入する。 ・電気使用量を把握し、毎月削減に努めている。 ・帰社時節電タップを使用し(パソコン、コピー機、シュレッダー、エアコン、加湿器)主電源を切っている。その他の機器も省エネモードに切り替えている。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・エアコンの温度設定を低く又は高くしすぎないように(夏は28度、冬は20度)にしている。 ・営業以外の従業員は公共交通機関での通勤、営業はハイブリット車を推奨している。 ・【予定】従業員のエコカー補助金制度を2022年10月に導入する。 ・【予定】2022年1月より簡易検査シート活用し排出量把握できるようにする。			2.4						7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、なるべく弁当を持参するなど廃プラやレジ袋、割りばしなどの使用削減に努めている。 ・印刷機のインクは大豆油インクを使用、事務用品はグリーン購入法適合商品を使用するなど環境負荷の低減に努めている。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生用紙の利用を推進している。 ・データでの管理を主とすることでペーパーレス化、また裏紙の利用に積極的に取り組んでいる。 ・事業所のごみ分別を徹底している。										9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水の保全に関する張り紙を掲示し、水を出しっぱなしにしないことやトイレを流す際に大小を使い分けるなど節水に取り組んでいる。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15				17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生紙、裏紙の利用を促進している。今後も引き続き再生紙の割合を増やしていく。 ・事務用品等備品も業者に相談して環境に配慮した製品がある場合は優先して購入・利用するようにしている。										9.4				12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●					1	2			6.4								12.3	14	15				17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●																11.6 11.7		13.1 13.3	15				17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6				9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●			・植林等の森林整備活動に熊本県中小企業家同友会を通じて取り組んでいる。						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			・会社の昼食や来客時や社員の飲み物等で繰り返し使用できる容器やガラス製のコップを推奨するなどプラスチックの使用削減や環境にやさしい素材の使用に取り組んでいる。														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			・事務作業の従業員は公共交通機関での通勤を推奨している。 ・公用車(自家用車兼用)はハイブリット車を推奨している。 ・【予定】従業員のエコカー補助金制度を2022年10月に導入する。										9.4			11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●			・公用車(自家用車兼用)は、ハイブリット車を推奨している。 ・【予定】従業員のエコカー補助金制度を2022年10月に導入する。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13					17.2	

